

国の医療にまわすお金を増やし、医療の危機打開と患者負担の軽減を求める請願

衆議院議長殿・参議院議長殿

年 月 日

【請願主旨】

「救急病院がなくなった」、「お産ができる病院まで2時間もかかる」、「小児科が閉鎖された」など、医療崩壊が全国各地で進行しています。国保料が高すぎて払えない人からの保険証取りあげにより、医療が受けられず死亡する事例も生まれています。これらの原因は、四半世紀も続いた国の低医療費抑制策にあります。日本の医療費は、先進30カ国中21位で最低水準です。医療の危機を打開するために、医療への国の負担を増やして医療費の総枠（診療報酬）を拡大してください。

一方、日本の患者負担は先進国中でも異常な高さです。ヨーロッパなど先進国では無料が原則です。日本は、大企業がとてつもない利潤をあげている超経済大国です。税金の使い方や集め方を変えれば、ヨーロッパ並みに患者負担を減らすことは可能です。患者負担の軽減にただちに取り組んでください。

【請願事項】

- 1、医療の危機打開のために、国の医療にまわすお金を増やしてください。
- 1、国の責任で医師、看護師などの増員・確保をしてください。
- 1、窓口負担を軽減してください。

氏 名	住 所

取扱団体